

市長と話そうタウンミーティング



平成 22 年度から実施している「市長と話そうタウンミーティング」は、昨年度末の時点で開催回数は 240 回を超え、ご参加いただいた市民の皆さんの数は、延べ約 8,500 人となりました。

本年度は、平成 30 年度から 2 カ年をかけて各自治組織単位で実施しています。今回は、平成 30 年度に実施したタウンミーティングでいただいたご意見の一部を紹介します。赤い文字で始まるのが参加者の意見、青い文字で始まるのが市長の回答です。

なお、今までに開催したタウンミーティングの議事録は、市ホームページでご覧いただけます。

図 広報広聴課 (TEL 262・9003)

タウンミーティング日程

本年度は 22 回開催します。6 月から 7 月前半の予定は下表のとおりです。自治組織に所属してなくても参加できます。

日 時	会 場	主 な 対 象
6月16日(日) 午前10時	緑ヶ丘分館	緑ヶ丘地区町会
6月16日(日) 午後2時	亀居分館	大井中央町会
6月18日(火) 午後7時	元福岡集会所	元福岡自治会
6月22日(土) 午前10時	鶴ヶ岡分館	鶴ヶ岡三丁目町会
7月4日(木) 午後7時	江川分館	東久保町会

スピーカーの向きで聞こえにくいことはあるかもしれませんが、NHKやテレ玉のデータ放送で文字による災害情報を表示しています。テレビリモコンのdボタンで確認ができますので、ご確認いただければと思います。また、Fメールでも防災行政無線で放送した内容を配信していますので、引き続き登録を呼びかけてまいります。

熊本の地震で水道管が破損し、水道水の供給に支障があったと聞きました。地震に強い水道管の更新は、どの程度進んでいるのでしょうか。

老朽管の更新は進んでいる状況ですが、今の計画ではあと10年程度かかると思っています。現在、給水原価が供給単価より低

病院に行くためにお出かけサポートタクシーを利用しています。タクシー運賃の半分を負担していただけるのでとても良い制度だと思えますが、市内限定のため、市外の病院に行くときは通常のタクシーで移動しています。せめて隣の市町までエリアを拡大してもらえないでしょうか。

お出かけサポートタクシー事業は、高齢者の皆さんなどの外出を手助けする目的でスタートし、民間のタクシー会社の協力で運営しています。現在の課題として、利用する時間帯が集中することや台数に制限があること、運転手を確保しなければならぬことがあつていいます。「タクシー」という愛

タウンミーティングの参加者の年齢層が高いと感じます。市の未来のために若い人たちの対話をお願いします。10年後、20年後のふじみ野市の未来を見据えた意見を聞いてもらいたいと思います。

本年度のタウンミーティングは、各自治組織を主な対象として開催させていただいていますが、若い世代の皆さんの参加が少なのが実情です。できれば、今私たちが考えるのは、若い世代やその子どもたちの時代のためだということをお話したいと思っています。10年先、20年先をこういうまにしたいから今みんなどうこうして欲しい、それをどうやって具現化していくかを語れる場にしたいと思っています。

なの花学校給食センターを見学したときに、栄養士さんから食べ残しが多いと聞きました。市長の説明にあった、し尿処理施設の敷地活用で給食の食べ残しも処理できるのでしょうか。

なの逆ザヤの状態です。今後、老朽管の更新を継続的に行っていくためには、水道料金の見直しをしなければならぬと考えています。しかし、ごなたも値上げは嫌なことだと思いますので、きちんとご説明してご理解をいただかなければいけないと思っています。

私有地への立ち入りはご承知の問題の大きなポイントです。所有者と連絡がつけば何かしらの働きかけはできると思いますが、連絡が

き家が問題になっています。私有地なので勝手に入ってはいけないことは承知していますが、地域の者が敷地内の雑草取りなど管理をしてはいけないのでしょうか。

空風で車が冠水しそうな場合に降、車の避難場所として市役所の駐車場を開放しています。市からの連絡がなくても、台風が接近する状況であれば市役所の駐車場は車の避難場所として開放されているとの認識でいてください。ご指摘いただいた連絡の仕方については、人の避難ではなく車の避難ですので、アナウンスが大きくなり過ぎないよう注意が必要な地域に限って広報車による周知を行っています。

市長の説明の中で、自治組織の加入率低下についてお話がありました。子育て世代としては労働や家事に注力せざるを得ず、そうした活動を面倒に感じる部分もあつたので考えさせられました。また、タウンミーティングに参加し

つかない場合、市がどこまで対応できるかが難しいところです。

東上線の事故が多く、周辺道路で渋滞が発生します。特に踏切渋滞がひどいので、何か対策はないのでしょうか。

上福岡駅周辺もふじみ野駅同様、過去に立体交差化の計画がありましたが、費用面などから断念した経緯があります。事故防止対策について鉄道会社から良い返事を引き出せていませんが、沿線の首長が集まる場などで引き続き粘り強く要望してまいります。

公共施設の利用料金は、社会教育関係団体に減免があるとのことですが、利用者には負担していただいた方が良くないのでしょうか。

公民館などはグループでの利用がほとんどだと思いますので、利用者の皆さんで負担し合っていたらいいと考えています。社会教育関係団体の減免をなくすることは可能ですが、難しいところもありますのでタウンミーティングでも説明しています。減免制度を見直して、障がい者団体などを優遇するようなことはあっても良いと考えています。

防災行政無線の放送がよく聞こえません。災害時に避難指示が聞こえるのか不安です。



たことでさまざまな世代が抱えている問題を知ることができて良かったと思えました。こうした場がより広く周知され、若い世代の参加者が増えるといいと思いました。

誰もが自分の周りのことで精いっぱいのことだと思いますが、公共は全て支え合いで成り立っています。災害時などは特に支え合いの重要性を実感することだと思います。だからこそ平時からできる範囲での協力が必要で、そうした機運を作っていくかなくてはいいかと思っています。また、タウンミーティングの参加についてお言葉をいただきありがとうございます。より広い世代、多くの皆さんにご参加いただけるよう引き続き努力してまいります。